



「からだといのちの学習」旬間7/8(月)~7/19(金)

白水台地の陽光「さん」



現代の児童生徒は、体格の向上とともに、性的な成熟が早まっています。一方で、性に関する情報が氾濫し、携帯電話やインターネットなど、通信機器や情報機器の普及発達等、子どもを取り巻く社会環境は大きく急激に変化してしています。また、熊本は「性感染症」「10代の人工妊娠中絶」が都道府県別ワースト1位~2位が続いている現状です。それらの背景として、「人間関係の希薄化」「コミュニケーション能力低下や未発達」「自尊感情や自己肯定感の低下」「過剰な性情報にさらされている現状」があります。さらに「性の問題」は「薬物の問題」へつながっています。時代とともに家族観、結婚観、性に関する認識(LGBT)等も多様化し、これからも変化していくことが予想されます。そんな時代をこれから生きていく子どもたちが、「自分のからだ」についてしっかり理解し、自分や他の人々の命を大切に、豊かな人間関係を結んでいくことができるように、性の指導に取り組んでいきます。

【学校における性に関する学習の基本的目標】

児童生徒等の人格の形成を究極の目的とし、人間の性を人格の基本的な部分として生理的側面、心理的側面、社会的側面などから総合的にとらえ、科学的知識を与えるとともに、児童生徒等が生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性観をもつことにより、自ら考え、判断し、意志決定の能力を身につけ、望ましい行動をとれるようにすることを目標としています。

保護者の理解と連携を大切にするために、各学年の指導内容や子どもたちの様子を、事前・事後に学級通信等でお知らせします。家庭でも話題にしてもらおうとありがたいです。

校内童話発表会

読書意欲と読書力の向上、及び豊かな心の育成をめざして、童話発表会を行いました。一人一人の子どもたちが本を選び、家庭学習等で発表の練習をし、学級で予選会をしました。発表する方も、聞く方も、童話の不思議な世界を感じ取ったり、伝える技術を学んだりできたのではないかと思います。そして、学級の代表になった6名が、全校の前で発表してくれました。1年榊田あかねさん「ちょっとだけ」、2年諸泉そのこさん「きみがしらないひみつの三人」、3年米満ゆいさん「くもすけおやぶん とりものちょう」、4年友田よつばさん「さよならチワオ」、5年山下ようへいさん「すみれ島」、6年歩瀆あさひさん「おりづるの旅 さだこの祈りをのせて」でした。内容的にも技術的にも高いレベルで、発表に心が引き寄せられました。最後に、教頭先生より、お褒めの言葉がありました。町の代表には、5年生の山下さんと、6年生の歩瀆さんが選ばれました。来年度も、全員が代表をめざして頑張ってくれることを期待します。



